

吉祥院天満宮

祭神:菅原道真公

京都市南区吉祥院政所町3



吉祥院天満宮 道真公生誕の地

吉祥院天満宮は、延暦23年(804)、菅原道真きよきみの祖父清公が遣唐使として唐へ向かう途中、海上で靈験を得たという吉祥天女を、帰国後にこの地に祀った吉祥院が始まりといわれています。また、吉祥院は寛平6年(894)に道真の五十賀等が行われた所でもあり、道真公の死後はその霊を祀って吉祥院聖廟と称されました。その後は道真の霊を慰めるために、詩歌の宴がしばしば催されたといひます。なお、この地は道真の曾祖父すがわらふるひと(菅原古人)が桓武天皇から賜った白井の庄(現吉祥院)の中央部で、本宅を構えたところ。菅原道真公誕生の地とされています。

吉祥院天満宮は、朱雀天皇の勅命により承平4年(934)に最初の天満宮として道真誕生の地に創建され、天神信仰・御霊信仰で栄えたが近世は衰えました。

境内には、道真のへその緒を埋めたと伝える「胞衣塚えなつか」、少年時代に習字に使ったとされる「硯の水すずり」、顔を写したと伝える「鑑かがみの井」などが有名です。

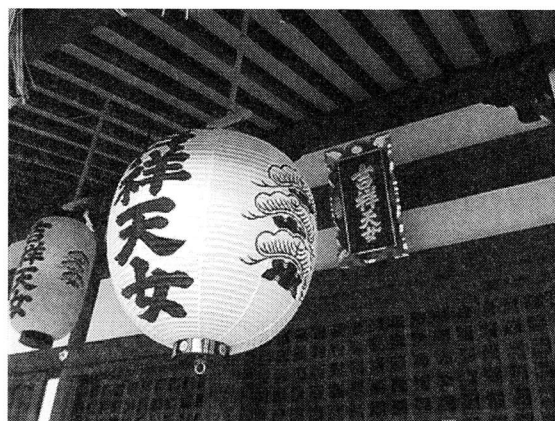
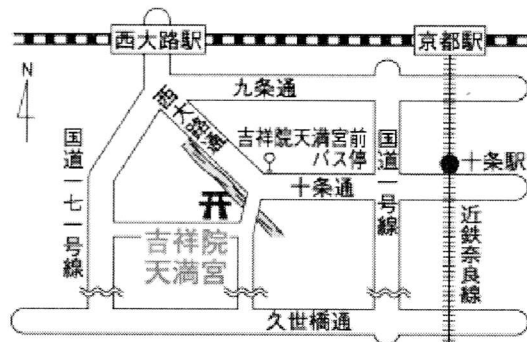
菅原道真は、承輪12年(845)6月25日、吉祥院において生まれ、幼少の頃から学才に優れ、18歳で進士、23歳で秀才の試験に合格し、33歳で文章博士となり、政治に学問に大いに手腕を發揮し、次々と昇進、ついに右大臣にまで上り詰めています。しかし、ライバルの藤原時平の讒言により太宰府(福岡県)の太宰権帥ださいごんのそらとして延喜元年(901)に左遷の命が

發せられ、延喜3年(903)2月25日、大宰府において一生を閉じました。

なお、菅原道真の誕生の地としている神社は、他に上京区の「菅原院天満宮神社」と下京区の「菅大臣神社」の二つがあります。

◇吉祥院天満宮の所在地など

- ・住所/京都市南区吉祥院政所町3
- ・電話/075-691-5303
- ・拝観/境内自由
- ・交通/市バス「吉祥院天満宮前」下車すぐ



吉祥院天満宮境内にある吉祥院天女社